

学校教育目標	「学べ」「磨け」「輝け」
目指す学校像	〇生き生きと学ぶ学校 〇豊かな心を育む学校 〇安心で安全な学校 〇地域とともに歩む学校

重点目標	全ての子どもに届く学びで、未来へ踏み出す力を育む学校づくりの推進 1 教職員の指導力を高め、授業改善を進めることで、生徒の基礎学力と学ぶ意欲の向上につなげる 2 一人ひとりを大切にしたい積極的な生徒指導と教育相談を進め、全生徒に居場所ある魅力的な学校を目指す 3 家庭及び地域との連携の一層の強化を図り、信頼され、愛される学校づくりを推進する 4 安心・安全で、「学びの場」にふさわしい教育環境づくりを一層推進する 5 服務規律を徹底し働き方改革を進め、全教職員が安心してキャリア形成と成長に励める職場環境を築く
------	---

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
 ※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学びの質の向上に関する取組

子どもの発達や心をサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校自己評価					学校運営協議会による評価		
年度目標					年度評価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	現状 学習の理解度に大きな差があり、 家庭学習の習慣化 が不十分で基礎学力が定着していない。 課題 ①基礎学力の定着を図る体系的な指導体制の強化 ②家庭学習を促す環境整備と継続的な学習支援の充実 現状 授業がわかる実感や自分に合う学び方を感じる生徒が少ない 課題 ①興味を引き、学びを促す授業設計の工夫 ②理解を深める個別最適な支援体制の充実	系統的学習と主体的学びの深化 カリマネを基軸とした授業改善と協働的学びの深化	①学習内容の系統性と個別最適化を支えるカリキュラム改善 ②学習過程の可視化と自己調整力の育成 ③「学びのポイント(じ・し・ゃ・く)」を基盤とした授業改善	①学校評価教職員「基礎学力を定着させるために家庭学習に対する指導の工夫がなされているか」のCD減少(R7:27.7%) ②さいたま市学習状況調査「授業内容が分かりますか」の向上(R7:80.4%)			
			①カリキュラム・マネジメントを軸とした学校全体の授業改善 ②授業改善サイクルの確立 ③多様な他者との関わりを通じた思考の深化	①学校評価生徒「桜山中はわかりやすい授業にしよう」と努力している」A向上(R7:49.1%) ②学びの指標『学びのポイント』に基づいた授業づくりの意識(R7:71.4%)			
2	現状 生徒は教員から肯定的評価を受けているものの、 自己肯定感 が低い状況である。 課題 ①エージェンシーを育む指導体系の整備 ②小規模校の強みを生かした相談体制の充実 現状 生活で幸福感を得る生徒は多いが、 学習意欲 や 夢 へ向かう力、 挑戦意欲 が低い。 課題 ①安心して学べる人間関係づくりの充実 ②未来へ踏み出す力を育む教育活動の充実	エージェンシーを育む学習環境と対話的支援体制の構築 探究学習とキャリア教育の充実	①自己決定を促す学習環境の整備 ②相互尊重を基盤とする言語環境の充実 ③ニーズを捉えた相談支援体制強化	①学びの指標「主体的な学び」の向上(R7:3.21) ②心と生活のアンケート信頼自己の向上(R7:16.0)			
			①「学びの探求コンパス」を踏まえた授業改善 ②夢の実現を支えるキャリア教育の充実	①探究的な学習で生徒の問いを尊重し、学びを広げる支援ができたか ②生徒の進路希望に応じた個別支援を行う時間を確保できたか			
3	現状 授業や行事に積極的に地域人材や施設の協力が得られているが、 参画が特定行事に偏る 。 課題 ①年間を通じた継続的参加体制の構築 ②生徒との協働作業の場の創出 現状 地域に支えられていると感じる生徒は多いが、 地域貢献意欲 は低い。 課題 ①生徒のエージェンシーを高める活動機会の拡充 ②地域における自己有用感向上のための取組充実	地域連携の継続性と協働の質の向上 学校運営協議会を核とした地域と学校の関わり充実	①地域連携を基盤に教育課程へ協働体制を組み込む取組の推進 ②地域資源を活用し年間を通して協働活動を創出・継続する取組の充実	①学校評価教職員「授業や行事等に、積極的に地域の人材や施設の協力を得ることができているか」Aの向上(R7:61.1%) ②地域と協働する学習機会を継続確保できたか			
			①地域協働活動を通し主体性と有用感を育む取組の推進 ②地域課題への参画を促し地域貢献意欲を高める学習活動の充実	①学校評価生徒「桜山中生は地域に貢献しようとしている(新設)」ABが65%以上 ②地域活動で主体的に役割を果たす姿が見られたか			
4	現状 各学年 1クラス の 少人数体制 のもと、 限られた人員 で施設設備の管理と会計業務を適切に進めている。 課題 ①少人数でも機能する安全管理体制の構築 ②負担を抑え管理精度を高める環境整備 現状 施設が老朽化 しているが、教育活動に支障のある箇所を優先し、修繕を行っている。 課題 ①優先度に基づく施設修繕と不要備品廃棄の実施 ②計画的な植栽の剪定	ICTと校務の効率化を図る管理体制の充実 安全確保に向けた計画的な施設管理の推進	①学年主任との連携による学習者用タブレット管理状況の正確把握 ②機能的清掃用具の導入と適正な会計事務、集金業務「スクペイ」導入、空き教室の管理と活用の推進	①学校評価教職員「清掃活動は手順通りに行われているか」Aの向上(R7:44.0%) ②会計業務が規定に基づき適切に管理されているか			
			①施設の定期臨時点検と危機管理体制強化の実施 ②教育委員会や専門業者との連携による老朽化箇所の計画的な点検・修繕計画の策定	①学校評価教職員「学校内の安全点検が機能しているか」CDの減少(R7:11.1%) ②老朽化箇所の修繕計画に基づき必要な対応が進められたか			
5	現状 服務規律 の維持と 相談体制の充実 に向けた取組を進めている。 ①不祥事防止と相談体制強化に向けた研修充実 ②危機対応力向上に向けた訓練体制の強化 現状 教職員の専門性向上 と校務DX推進に向けた取組を進めている。 ①授業改善と研修支援を促す組織的取組の強化 ②ICT活用と校務DX推進による業務改善の深化	教職員の専門性向上と危機対応力を支える研修体系と支援体制の充実 教職員が安心して成長できる研修体系と校務DXを基盤とした職場環境構築	①不祥事防止と教職員の相談体制強化を図る研修体系の一層の充実 ②危機対応力向上に向けASUKAモデル等を活用した訓練体制の強化	①学校評価教職員「服務規律に関する研修内容を理解し、個人情報管理や教育公務員としての行動に適切に反映できた(新設)」のABが90%以上 ②時間外在校時間45時間超職員減少(34.4%→32%)			
			①PDCA推進と研修を通じた授業改善と教職員の学び合い促進の取組 ②ICT活用と校務DX推進および教育データ分析による業務効率化と支援体制整備の取組	①学校評価教職員「自ら設定した研修内容を達成できた(新設)」のABが80%以上 ②ICT活用や校務DXを通して、校務の効率化が進んでいるか			

学校運営協議会による評価
 実施日令和 年 月 日
 学校運営協議会からの意見・要望・評価等

